



横山松三郎 撮影・高橋由一 彩色「江戸城写真」東京国立博物館蔵

幕末・明治の東京

——横山松三郎を中心に——

THE RISE OF JAPANESE PHOTOGRAPHY

1991年1月31日(木)~3月19日(火)

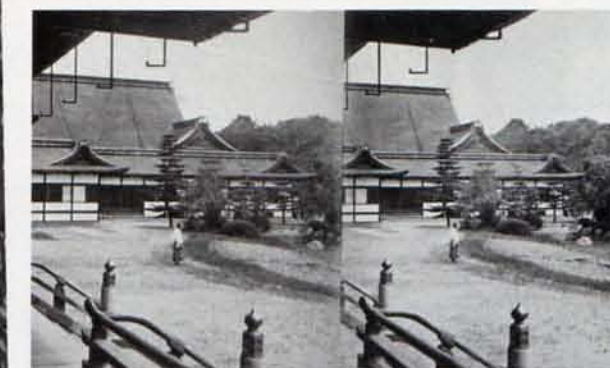
主催=東京都写真美術館
 開館時間=午前10時~午後6時(入館は5時30分まで)
 休館日=第2・第4水曜日
 観覧料=一般・大学生500[400]円/小・中・高校生250[200]円
 []内は10名以上の団体料金
 テレフォン・サービス 03(3280)0099

東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography

〒150 東京都渋谷区恵比寿4-19-24 ☎03(3280)0031



1. 横山松三郎「自画像」 北方歴史資料館蔵
2. 横山松三郎アルバムより「横山慶次郎像」 横山裕氏蔵
3. 横山松三郎「禁中寫真」アルバムより 横山裕氏蔵
4. F.ベアト「愛宕山から見た江戸のパノラマ」 慶応元年~2年(1865年) 東京都写真美術館蔵



東京都写真美術館では、江戸東京400年記念事業の一環として、「幕末・明治の東京——横山松三郎を中心に」展を開催します。

鎖国時代に長崎の出島を通して紹介された写真術が、その後人々にどのように受け入れられ、どのように広まっていったか。本展覧会では日本の写真の創草期に活躍した写真家たちの目を通して、移り変わっていく江戸・東京の姿を展観します。

第一部では「写された東京」をテーマに、江戸時代のパノラマ写真、当時の風俗を伝える肖像写真を紹介します。第二部では、上野・池之端に写場を構えていた写真師・横山松三郎を紹介します。1938(天保9)年エトロフ島に生まれ、江戸を舞台に活躍した横山は、写真術において独自の技法を生み出した科学者でもあり、荒廃した江戸城、正倉院の御物を記録し、ウィーン万国博出品のため日光をはじめとする日本の景勝地を撮影するなど、多大な業績を残しました。また、デッサンや絵画など写真以外の分野でもその才能を発揮した人物でもあります。

本展覧会では横山松三郎の活動を中心に、日本

写真史に登場した幕末・明治の東京を紹介します。

【特別展示——田中光儀像】

日本で最初に写された日本人

1854年、アメリカのペリー艦隊が来航した際に、同乗していた写真家E. ブラウン・ジュニアによりダゲレオタイプ(銀板写真)で撮影されたもので、田中光儀は、当時、浦賀奉行与力見習の職に就き、アメリカ側の警護に当たった人物です。

【フロアーレクチャーのお知らせ】

第1回 2月11日(月)午後2時~

第2回 3月9日(土)午後2時~

【講演会のお知らせ】

テーマ=「横山松三郎とその時代」

日時=2月16日(土)午後2時~

会場=東京都迎賓館(東京都庭園美術館の奥)
 東京都港区白金台5-21-9

講師=岡部昌之

(帝京大学法学部講師・美術史) 他

【ワークショップのお知らせ】

——セミナー・ワークショップ——

「ステレオ・スコープ」

日時=2月16日(土)午前10時~午後5時

——こどものためのワークショップ——

「右目の写真と左目の写真—立体写真を作ろう」

日時=3月26日(火)午前10時~午後4時

東京都写真美術館

〒150 東京都渋谷区恵比寿4-19-24 ☎03(3280)0031

テレフォン・サービス03(3280)0099



【パノラマ写真の部分】